

2026年5月22日

報道機関 ご担当者 各位

河合塾グループ
株式会社 KJ ホールディングス**河合塾グループ、「頭脳スポーツ」としての麻雀に取り組む高校生を支援
～朝日新聞社主催「全国高等学校麻雀選手権大会」に協賛を決定～**

河合塾グループは、朝日新聞社が主催する「全国高等学校麻雀選手権大会」（2026年7・8月開催予定）に教育探究パートナーとしての協賛を決定しました。本取り組みを通し、頭脳スポーツ麻雀を通じた若者の成長を支援します。

■ 10代を中心に広がりを見せる、頭脳スポーツ麻雀

近年、10代を中心に麻雀が広がりを見せており、2018年に25万人だった10代の競技人口は、2023年には約3倍の78万人に大きく増加しました。

背景には、麻雀の頭脳スポーツとしての側面に注目が集まったことがあります。麻雀の特色である「手牌の組み合わせを最適化する数学的・論理的思考」「偶然という不確定要素に対処する判断力」「4人の対戦相手との駆け引きに代表される戦略性」といった知的スキルが不可欠である点が認められ、2017年には国際マインドスポーツに認定されました。さらに、頭脳スポーツ麻雀を題材にしたオンラインコンテンツや動画、漫画の普及、プロ雀士によるリーグ戦『Mリーグ』の立ち上げなどが追い風となり、小中学生向けの麻雀教室が開設され、幼児から大人まで楽しめる頭脳スポーツとして広がりを見せています。

**■ 「麻雀部」を設立する高校も 一個人だけでなく、チームとしての成長も**

注目すべき広がりとして、2026年現在では、兵庫県立姫路東高校、神奈川県立岸根高校・藤沢総合高校をはじめ、全国20校弱の高校で頭脳スポーツ麻雀に取り組む部活・同好会が設立されています。河合塾が視察した部活動の現場では、高校生が麻雀に真剣に取り組む姿がありました。洞察力や論理的思考能力、判断力という個人の能力だけでなく、振り返りや議論を通じて仲間と共に成長していく、大きな教育的可能性を感じました。

一方、麻雀が旧来のイメージで捉えられることが依然として多く、健全な頭脳スポーツであるという理解が十分に浸透していない点が大きな課題となっています。

■ 頭脳スポーツ麻雀に真剣に取り組む若者の成長を後押し

河合塾グループは、麻雀という頭脳スポーツを通じて育まれる力が、これからの社会を生き抜く子どもたちにとって重要な知的スキルと重なる可能性が大きいと考え、朝日新聞社主催の「全国高等学校麻雀選手権大会」にパートナーとして協賛することを決定しました。具体的な取り組みとして、2026年7月開催予定の第2回大会において「感想戦」や「思考力賞」を導入し、頭脳スポーツ麻雀による学びの可視化を支援します。今後は本取り組みをきっかけとして、頭脳スポーツ麻雀が高校生の学びや成長にどのように寄与しうるかについても探究しながら、競技に取り組む若者の成長と教育現場での安心・安全な普及を支援します。



(2025年に開催された第1回全国高等学校麻雀選手権大会の様子)

■本リリースでの取り組み内容 ※一部検討中の内容も含まれます

- 朝日新聞社主催「全国高等学校麻雀選手権大会」への河合塾グループ教育探究パートナー協賛
- 大会への「感想戦」「思考力賞」の導入による高校生の思考プロセスや学びの可視化
- 高校の部活動や練習会を活用した長期的な継続観察・実証

■「第2回全国高等学校麻雀選手権大会」開催情報 ※詳細は朝日新聞社が発表予定

主催：株式会社朝日新聞社

日程：【地区予選】2026年7月5日～20日 東京・大阪・福岡各会場

【全国大会】2026年8月13日～15日 東京会場

参考：2025年夏に開催した第1回大会の主な出場校（複数チームが出場した学校）

【茨城】土浦一、並木中等、銚田一 【栃木】佐野、青藍泰斗、高崎 【埼玉】慶應志木、県立浦和、松実 【千葉】
暁星 国際、県立船橋、東葉、東葛飾 【東京】麻布、海城、学芸大附、小石川中等、渋谷教育渋谷、昭和第一、
神代、筑波大駒場、東京高専、戸山、本郷、町田、安田学園 【神奈川】磯子工、市立川崎、岸根、藤沢総合、
横須賀、横浜サイエンスフロンティア、横浜商 【愛知】旭丘、東海、名経大市邨 【滋賀】立命館守山 【大阪】芥川、
今宮工科、関学千里国際、布施工科、府立大手前、夕陽丘、履正社 【兵庫】灘、姫路東 【岡山】岡山大安寺中
等 【香川】大手前高松 【通信制】N高・S高・R高、わせがく（全国180校から286チーム572選手が参加）

河合塾グループ 本プロジェクト担当者からコメント

高校生たちが頭脳スポーツ麻雀に真剣に向き合い、仲間と振り返りや議論しながら成長していく姿を視察し、大きな教育的可能性を感じています。一人ひとりの学びを支援する河合塾グループとして、高度な頭脳スポーツに向き合う若者を応援したい。そんな思いが今回の取り組みの出発点です。朝日新聞社とともにさらにその教育的価値も探っていきたいと考えています。

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾グループ広報センター 【TEL】03-6811-5508

【E-mail】press@kawaijuku.jp 【受付時間】9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）